

# 米倉教公の週間為替市場見通し

4/17 日週号

ドル/円予想レンジ 105.30 - 110.00 円

## 『今週も地政学リスクに振れる可能性も!』

### ■前週の市場動向：地政学リスクの高まりでドル軟調！

前週のドル/円週足では、上影大陰線となり、上値・下値切り下げる弱い展開が続いている。週明けは、一時 111.58 円まで上昇する場面もあったが、中国軍が北朝鮮国境付近に派遣されたと伝わりリスク回避の円買いが優勢となった。11 日は、シリアや北朝鮮などの地政学リスクが高まるなか、リスク回避の流れが続き、節目となる 110.00 円を下抜けて 109.56 円まで下落した。12 日は、109 円台で下げ渋るも、トランプ大統領が WSJ に対して『ドルは強くなり過ぎている』との見解が伝わると、一転してドル売りが優勢となった。13 日は一段と値を下げた。その後一旦買い戻しも入ったが、米軍が『アフガニスタン IS のトンネル施設を攻撃した』との報道を受けると、改めて地政学リスクの高まりから戻りは限定的だった。14 日は、イースター休暇で参加者が少ないなか、米 3 月 CPI などの米経済指標が弱い結果となったことを受けて、一時 108.50 円まで下落した。

### ■今週の注目点：引き続き地政学リスクを警戒！

今週も北朝鮮を巡る地政学リスクの警戒により円高・株安流れが継続しやすい。16 日早朝に北朝鮮がミサイル実験を実施するなど、米国との緊張感が高まっている。18 日から始まる日米経済対話も議論の展開次第では円高要因になり得る。貿易不公正の是正を優先課題に掲げる米国と、マクロ経済政策の連携などを進めたい日本との間で思惑のずれが見え隠れしている。この日米経済対話を控えて日本政府としても『円高けん制発言』が封印されている。欧州では 23 日に控えるフランス大統領選挙（第 1 回投票）では、4 人が混戦状況であり、急進左派メランション候補の台頭で不確実性が高まっている。上値目処は、200 日線の 108.78 円、13 日高値の 109.39 円、トランプ相場の 50%押し 109.91 円となる。下値目処は節目となる 108.00 円、トランプ相場のフィボナッチ 61.8%押し 107.84 円、白銀比率の 70.7%押し 106.28 円、フィボナッチ 76.4%押し 105.28 円が下値目途となる。3 月短観の大企業為替想定レートを通期 108.63 円が意識されやすい。

### ■テクニカル的な見解：地政学リスク回避の動きから円高になりやすい！

シカゴ IMM 投機筋の 4 月 11 日付け対米ドルの差し引き持ち高は、円は前週の▲45,800 から▲34,764 へと売り持ちは前週から減少した。パラボリック（パラメータ：0.08、0.3）では、4 日から売りが継続中。17 日の SAR は 109.73 円までの上昇で買い転換となる。MACD（パラメータ：12、26、9）では、デットクロスが継続し、MACD とシグナルのかい離幅が拡大。ストキャスティクス・スロー（パラメータ：14、3、3、20、80）では、%K：4.78、%D：7.02 と売られ過ぎの過熱感が強い。75 日線（紫線）を緩やかに低下傾向。200 日線（茶線）を下抜けてきており、下落基調が高まる可能性が高い。ロウソク足は、10 日をピークとし上値・下値切り下げとなっており、下落基調となっている。地政学リスクの高まりから、リスク回避の円高になりやすい。



### ★今週の気になる出来事

前週の急速な円高に対して、『円高けん制』発言したい政府としても、今週の日米経済対話を控えて指をくわえて見ているだけとなっている。ただ、忘れてはいけないのは、4 月 10 日から始まった水星逆行期である。この期間はトレンドが出にくく、ボラティリティが高まるということだ。円高基調が高まると思いきや、急激に円安に反転する可能性もある。昨年のゴールデンウィークでも水星逆行期であったが、急激な円高、そして急速な戻り円安へと急反転した。そのため、この期間小まめに利益確定するのが良い。

商号：株式会社フジトミ

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第 1614 号

商品先物取引業者：農林水産省指令 22 総合第 1351 号,経済産業省平成 22・12・22 商第 6 号

加入協会：日本証券業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人金融先物取引業協会、

■くりっく 365 の売買手数料は 1 枚当たり最大でインターネットスタンダードコースが片道 0 円 (税込)、インターネットプレミアムコースが片道 648 円 (税込)、コンサルタント取引 (対面取引) コース及びコンサルタント取引 (対面取引) オンライン併用コースが片道 1,080 円 (税込) です。

■くりっく 365 における証拠金の額は、株式会社東京金融取引所が定める為替証拠金基準額で、原則週次で見直されます。その額は通貨ペアによって異なり、個人のお客様の場合最大で約 25 倍のお取引が可能です。

【くりっく 365－為替証拠金基準額の算出方法】

金融先物取引所が定める為替証拠金基準額は以下の計算式に基づき、算出致します。

計算式：為替証拠金基準額＝取引単位 (元本金額) ×4%× (5 取引日の為替清算価格平均値)

■「くりっく 365」には、以下のリスクがあります。

【価格変動リスク】

くりっく 365 は、取引する通貨の価格の変動に伴い差損が生じる場合があります、元本や収益が保証されるものではありません。建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生ずる場合があります。また、差入証拠金以上の損失が生ずる場合があります。

【レバレッジリスク】

くりっく 365 は、取引の額が預託された証拠金に比して大きくなるため、価格変動リスクその他のリスクがその比率に応じて増幅されます。レバレッジにより、その取引について必要となる証拠金の最大 25 倍までのお取引を行うことができます。

【信用リスク】

当社は、東京金融取引所を相手方とした「清算制度」に参加しており、お客様の証拠金は、全額取引所が区分管理しているため、原則として全て保全されています。しかし、当社の信用状況の変化等により支払いが滞ったり、破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他不測の損失を被る可能性があります。

#### 【システム障害リスク】

当社及び東京金融取引所のシステム、又はお客様、インターネット業者、東京金融取引所の間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合には、相場情報等の配信、発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失が発生する可能性があります。

#### 【税制・法律等の変更リスク】

税制・法律又はその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

#### 【金利変動リスク】

取引対象である通貨の金利が変動すること等により、保有するポジションのスワップポイントの受取額が減少、又は支払額が増加する可能性があります。ポジションを構成する2国間の金利水準が逆転した場合等には、それまでスワップポイントを受け取っていたポジションで支払いが発生する可能性もあります。また、一部の通貨においては、外国為替市場における当該通貨の需給関係等の影響を受けて、金利変動によらずにスワップポイントの増減や支払いの逆転が生じたり、場合によっては、金利の高い方の通貨の買いポジションでスワップポイントの支払いが生じる可能性があります。

#### 【流動性リスク】

くりっく 365 で提示する為替レートには価格差（スプレッド）があります。くりっく 365 では、マーケットメイカーが買呼値及び売呼値を提示し、それに対してお客様が注文を発注して取引が成立する方式を取っています。状況（天変地異、戦争、政変あるいは為替相場の激変等）によって、マーケットメイカーによる買呼値や売呼値の安定的、連続的な提示が不可能または困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができないなど、お客様にとって不測の損失が生じる可能性があります。また、一部の通貨において母国市場等の休業の場合には臨時に休場することがあります。更に、当該国の為替政策・規制による他通貨との交換停止や外国為替市場の閉鎖の措置がなされるなどの特殊な状況が生じた場合には、特定の通貨ペアの取引が不能となる可能性もあります。なお、平常時においても流動性の低い通貨の取引を行う場合には、希望する価格での取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

#### 【コンバージョンリスク】

クロスカレンシー取引においては、決済が当該通貨ではなく円貨でなされることから、決済時に当該通貨の為替リスクの他に円との為替リスクがあります。

#### 【ロスカットのリスク】

相場の変動により、有効比率が当社の定める基準以下となったことを当社が確認した場合、お客様の意思に関わらず、当社はおお客様の全ての未約定注文の取消及び全ての建玉の決済注文（ロスカット注文）の発注を行います。

ロスカットの場合でも、相場の急激な変動により損失の額が差し入れた証拠金の額を上回る可能性があります。

#### 【情報リスク】

当社からご提供させていただく情報は、くりっく 365 の取引の参考としていただく資料です。その記載情報は、信頼性、正確性、完全性において保証されるものではありません。また、情報内容も予告なしに変更することもあります。

#### 【その他】

取引所為替証拠金取引の売買は、クーリング・オフの対象とはなりません。取引所為替証拠金取引に関しましては、金融商品取引法第37条の6の規定の適用対象とはなりませんので、ご注意ください。

※くりっく 365 は、株式会社東京金融取引所の登録商標です。